

2019 年度

アメリカ留学報告書

留学先：セントラル・ミズーリ大学

留学期間：8月22日（木）～12月12日（木）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21018065
高野 颯

目次

1	留学先及び留学期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	3、4
	4 - 1 留学のスケジュール	3、4
	4 - 2 留学の詳細	4
5	目標・目標への達成度	4
6	反省・課題	5
	謝辞	5

付録

	研修日誌	5、6、7
--	------	-------

1 留学先及び留学期間

留学先：セントラル・ミズーリ大学

留学期間：令和1年8月22日（木）～令和1年12月12日（木）

2 留学先概要

(1)大学について

セントラルミズーリ大学は、ウォレンズバーグにある総合大学である。豊かな自然に囲まれており、勉学に励むにはとても良い環境である。敷地内には、体育館、スポーツジム、屋内外プールなどが完備されている。

(2)大学で行われている教育について

私たち国際情報大学の学生が受講したプログラムは IEP (Intensive English Program) という留学生のためのクラスであった。学力ごとにクラスが分かれており、無理なく授業が受けられる。リーディング、リスニング、文法、コミュニケーションスキルを学ぶ。また、発音練習や TOELC 対策の授業も行われた。

3 留学の目的

今回の留学目的は、異文化の体験、語学力の向上はもちろんだが、自分自身を成長させるためでもあった。

4 留学内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 留学のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日	内容
8	22	到着
	27	授業開始
9	5	アメフト観戦
	13	メジャーリーグ観戦
10	12	ホームカミングパレード
	31	ハロウィンパーティー
11	23~1	サンクスギビングブレイク

12	11	修了式
	12	出発
	13	帰国

4 - 2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i)授業

リーディングや文法、発音などの基本から応用まで学ぶことができる。課題がほぼ毎回出されるので自然と英語力は身に付く。

ii)アメフト観戦

大学の敷地内にアメフトのスタジアムがあり、そこで試合を観戦した。迫力あるパフォーマンスを生で見ることができる。

iii)メジャーリーグ観戦

本場の野球の試合を見ることができた。日本のプロ野球の試合とは違った雰囲気でありとても新鮮であった。

iv)ハロウィンパーティー

IEP のクラスのみennaと一緒にハロウィンパーティーを行った。みんなそれぞれが仮装しあい写真を撮りあった。

v)サンクスギビングブレイク

アメリカの感謝祭であり、一週間ほどの休みがある。学生たちは各々計画をして旅行をしたりする。

vi)修了式

全てのプログラムが終了すると修了式が行われる。一人一人に修了証が授与される。これが留学期間の最後の行事となる。

5. 目標・目標への達成度

今回の留学の目的は語学力の向上と自分自身の成長であった。語学力は必然的にある程度向上した。授業中や現地の方たちとコミュニケーションをとるときはもちろん英語のため英会話の能力も向上した。普段の生活から自分たちで判断して行動をするため判断力や行動力が向上した。自分自身の価値観や考え方も変わり、視野が広がったと実感している。

6. 反省・今後の課題

留学期間中は様々な国の人と関わることができたが、自分の気持ちや考えを英語で上手く伝えることが出来ないことが多かった。また、積極的に行動をしてイベントに参加したりもっと多くの人たちと交流するべきであった。

謝辞

今回の留学にご支援してくださった現地の先生方、国際情報大学の先生方、皆様に心より感謝いたします。なによりも留学に行かせてくれた家族に感謝しています。

付録：留学日誌

8月22日 出発

・所感

緊張と不安が入り混じりながらの出発だった。飛行機の中でも不安でいっぱいであった。

8月27 授業開始

・所感

先生が何を言っているのか理解するのに必死だった。課題の量も多く不安で押しつぶされそうになる。

9月5日 アメフト観戦

・所感

生で初めてアメリカンフットボールを見た。大迫力のパフォーマンスに圧倒された。観客の盛り上がりが凄かった。



9月13日 メジャーリーグ観戦

・所感

メジャーリーグを観戦することは幼いころからの夢であったのでとても興奮した。スタジアムの広さに感激した。



11月25日 サンクスギビング

・所感

自分の目で見るとタイムズスクエアは最高だった。テレビなどの映像でしか見たことがなかったので感激だった。



12月11日 修了式

・所感

長かったようであつという間に過ぎる濃い4ヶ月間だった。この体験は自分にとって掛け替えのない時間になった。



